

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 運動療育センターすきっぷ 下原教室

公表日 令和 8年 3月 31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	78%	22%	動線や児童数を踏まえた部屋分けを行い、安全に配慮した職員配置を話し合いの下行っている	狭いと感じる限界はあるが、やはり少し狭い。6年生が卒業することによって少しは改善されそう 限られた空間ではありますが、今後は環境設定やエリア分けの工夫を行い、より過ごしやすい空間づくりを行う必要がある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	基準より多く配置している 多く配置されている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	89%	11%	掲示物の位置や量は気をつけているが、部屋の構造的にもなかなか情報が入りにくい時もある 構造化や掲示物を使って行っている 対象と思われる児童はいないが、入り口から室内でも段差がなく対応できていると思う	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		清潔面や安全面には配慮しているが、活動内容によっては改善の余地があると認識している 今後は整理整頓にも一層力を入れ、より安心して過ごせる環境づくりに努めていく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	痲痺を起こしたり、気持ちを崩したり子のクールダウンを行う場合や個別でお話をする場合などに利用している 児童にもわかりやすいように掲示物を使用している	個室がもう少し欲しい 限られた空間ではあるが、今後は環境設定やエリア分けの工夫を行い、より過ごしやすい空間づくりを行う
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	正職員で都度不具合を出し合い会議の中で議論している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	必要に応じて開催 アンケートから改善を行っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的な面談機会を設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11%	89%		実施しているのかわからない 第三者による評価は行っていない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	資格取得者別の会が開かれ、そこで勉強会を行なっている 職種によってや、児童の安全確保のためなどさまざまな行っている	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	保護者にあらかじめ質問紙を配布することで、保護者の意向をより反映できるようになった	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	日々支援の方向性について会議で話をしている 支援計画の内容を児童のお約束にも反映して日々支援を行っている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	会社内では標準化されたものを使用している 今後より改善やより数値化されやすいフォーマルな評価を使用していく	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	89%	11%		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	会議で意見交換している	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	長期はもちろん、日々の支援においても考えていると思う	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	必要に応じて個別活動や小集団活動を取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	その他安全面などのリスク管理も話し合っている 毎日支援会議を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		人によって差がある。簡易的にでも中間モニタのタイミングは必要と思う 見直し時期や方法を検討していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	78%	22%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	78%	22%	必要に応じて実施	学校お迎えでの伝達等で少し聞いているが、もう少し連携があってもよさそう 最近では学校との連携も増えてきており、今後はさらに円滑な連携が図れるよう、地域との関わりも意識して取り組んでいく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	89%	11%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	78%	22%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%	こちらから提案し、要望があれば応じている 必要に応じて行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33%	67%	あまりその機会がないので、より地域との連携をとる手段を増やす必要がある	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11%	89%	今のところなく、検討している段階と思う	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	89%	11%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	44%	56%	必要に応じて実施 全員ではないが、家庭連携として支援ツールを渡したりしている 研修等は開いていないが、家庭連携という形でペアレントトレーニングも行っている	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時と事業所に掲示をしている		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	11%	89%		開催を検討している
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	職員への誓約書と、個人情報書類は鍵付き書庫にて管理している	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		